様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年6月21日

愛知県知事　様

提出者

住　所　名古屋市東区葵３丁目１９番７号

氏　名　矢作建設工業株式会社

代表取締役社長　　髙柳　充広

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０５２－９３５－２３８２

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	矢作建設工業株式会社
事業場の所在地	名古屋市東区葵三丁目１９番７号
計画期間	令和３年４月１日～令和４年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	０６：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：６，５２８，３００万円
③従業員数	８２０名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事 既設構築物解体：がれき類→再生処理業者に委託して再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 混合物→中間処理業者に委託して選別・減量化の後、埋立処分 基礎工事：汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分 建築工事：がれき類→再生処理業者に委託して再資源化 廃プラスチック→中間処理業者に委託して燃料として再資源化 もしくは、焼却施設のある業者で焼却処分 混合物→中間処理業者に委託して選別・減量化の後、埋立処分

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和３年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排　　出　　量	t
	（これまでに実施した取組） 「発生抑制、再使用及び再生資源利用の推進」目標値：最終処分9%以下 ・メーカーに対して簡易梱包を依頼し梱包材の削減に努めている。 ・プレカットによる現場発生材の発生を抑制する。 ・ダンボールの徹底分別による排出量の削減に努めている。 ・ラス型枠を採用することにより型枠残材の削減する。 ・新規入場時教育時に産廃分別の教育指導を行っている。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排　　出　　量	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も引き続き現状の取り組みを継続する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別を徹底することにより混合廃棄物を削減する。 ・ダンボールの徹底分別による排出量の削減に努めている。 ・木くずは徹底分別し、再資源化施設を推進している。 ・石膏ボードは専用のパレットを設置して分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・今後も引き続き現状の取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	－　t	－　t
	（これまでに実施した取組） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	－　t	－　t
	（今後実施する予定の取組） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェストの使用を基本として、委託業者への指導の強化 ・産業廃棄物委託契約の電子化を推進 ・本社環境部による定期的な委託業者の施設・処理状況の確認 ・各方面からの情報収集により、不適業者を排除し全社に周知 ・産業廃棄物の最終処分率の目標を設定し、最終処分率の低減に努めている。		

	②計画	【目標】【前年度（令和３年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
		再生利用業者への処理委託量		t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・今後も引き続き現状の取り組みを継続する。		
	※事務処理欄			

別紙１　　【前年度令和3年度）実績】

	廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	汚泥	紙くず	金属くず	混合廃棄物	廃プラスチック	木くず	繊維くず	廃油	廃アルカリ	燃え殻	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃プラスチック	混合廃棄物	
	名称（任意の名称を記入してください）	コンがら他	石膏ボード他	建設汚泥	養生紙他	鉄筋くず他	（安定型・管理型）	養生シート他	木端、伐採木他		塗料・溶剤他			石綿含有廃棄物	石綿含有廃棄物	石綿含有廃棄物	石綿含有廃棄物	計
①	排出量(t)	34643.336	653.300	11134.430	207.750	79.665	775.300	873.145	1609.635	0.096	1.910	0.203	49.810	25.160	7.000	0.350	1.040	50062.130
②	自ら再生利用を行った量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
⑩	処理委託した全量(t)	34643.336	653.300	11134.430	207.750	79.665	775.300	873.145	1609.635	0.096	1.910	0.203	49.810	25.160	7.000	0.350	1.040	50062.130
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	2402.496	362.350	0.000	207.300	72.885	739.270	672.700	1217.010	0.000	0.324	0.203	49.810	0.000	7.000	0.000	0.000	5731.348
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	34379.771	504.163	10463.362	207.750	79.665	473.896	683.115	1590.030	0.000	0.750	0.203	49.810	0.000	0.000	0.000	0.000	48432.515
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

別紙２　　【今年度令和4年度）計画】

	廃棄物の種類	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	汚泥	紙くず	金属くず	混合廃棄物	廃プラスチック	木くず	繊維くず	廃油	廃アルカリ	燃え殻	がれき類	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	廃プラスチック	混合廃棄物	
	名称（任意の名称を記入してください）	コンがら他	石膏ボード他	建設汚泥	養生紙他	鉄筋くず他	（安定型・管理型）	養生シート他	木端、伐採木他		塗料・溶剤他	冷却水（不凍液）		石綿含有廃棄物	石綿含有廃棄物	石綿含有廃棄物	石綿含有廃棄物	計
①	排出量(t)	33000.000	600.000	10000.000	185.000	70.000	700.000	800.000	1450.000	1.000	1.000	0.200	45.000	22.000	6.000	3.000	0.900	46884.10
②	自ら再生利用を行う量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
⑩	処理委託する全量(t)	33000.000	600.000	10000.000	185.000	70.000	700.000	800.000	1450.000	1.000	1.000	0.200	45.000	22.000	6.000	3.000	0.900	46884.10
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	2400.000	360.000	0.000	200.000	70.000	700.000	650.000	1200.000	0.000	0.500	0.200	45.000	0.000	6.000	3.000	0.900	5635.60
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	32700.000	500.000	10000.000	200.000	70.000	450.000	600.000	1450.000	0.000	1.000	0.200	45.000	0.000	0.000	0.000	0.000	46016.20
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。